

注意ノコト

11 某隊ニ於テ家畜ヲ調査シ將來全部軍ニ於テ徵發スル旨ヲ漏シ
為ニ民間ニ於テハ小豚並殺シ食用ニ供シアリト各隊ハ注意シ地
方人ニ不用意ナル言動ヲナサザルコト

12 避難民ヨリ家畜其ノ他ヲ公定價格ヨリ安價ニ購入シアル部
隊アリ地方人因却ニ乘ジテカル行爲ヲ去ハハ軍ノ威信ニ拘ルヲ
以テ注意ノコト

13 貯蓄勵行ニ當リ 通帳ナキ多實施シ得サル部隊アルモ 近ク
中央部ヨリ通帳ヲ送付セラルハニ付爲念

七 巡察報告中左記ノ如キ件アリ注意ノコト

1 十月三十一日兵團司令部衛兵司令高村伍長(石第三五九六部隊)
以下ノ服務ハ熱心ニシテ可ナリ

2 十月三十一日石第三五九六部隊竹内貞三軍曹ハ作業ノ歸途夜
暗ニ拘テ敬禮部隊ノ引率權實ニシテ指揮官指揮良

好ナル爲部隊モ又整々タリ

3 十月三十一日五ノ頃石第三五九六部隊棚原作業隊山本幸兵衛

酒ニ酔ヒ道路上ニ寢轉ニアリ地方人環視ノ中ニテ不可ナリ

4 經塚安波茶附近ノ井ノ水不足ノ爲民家外ノ河沼ニ洗濯
水浴ニ往復スル者多シ 服裝態度ヲ取締ルコト

5 十月三十一日球第一〇九〇部隊ノ各宿舍ノ食事運搬兵ノ服裝悪シ

階級章ニシテ襦袢ノ鈕ヲカケルモノ襦袢袴下ノ儘ノモノアリ

6 十月三十一日石第三五九六部隊関根隊ノ指揮班及第三小隊宿舍

ハ殆ト全員ガ寢轉ニタル儘煙草ヲ吸ヒ雜談ニ耽リアリ

作業ヨリ歸リテ疲勞シマリテ何事モ億劫トナリ勝チナラモ

注意ヲ要ス

八 後方施設ニ就キ

1 慰安所ノ切符ノ目日及時間等ヲ故意ニ訂正シテ持参スルモ

一人ニテ四枚ノ切符ヲ持参スルモノ 翌朝ヨリ頃來ルモノ

廣地迴當ラザル起因シテ續發スルニ非ラズ現在ノ氣候カ最モ
チラス患者ノ發生スル時期ナリ村落ハ嚴ニ注意シヨト

四 十月三日石第三八八部隊兵器部ノ自動貨車カ嘉敷一牧老間於
テ自動貨車用工具包(長約五尺程)經テ石櫃茶桶布ニテ工具充填サレリ
及自動貨車用空氣ホヱラ落失セリ各部隊ハ調査中心當リテ八當部
ニ通報セラレ度

五 巡察報告ニ依リ八左ノ如キ件ナリ

一 石第三五九六部隊砂辺監視哨司令剛口伍長以下ノ服務ハ積極的ニ
良好ナリ(十月五日)

二 石第四三三部隊衛兵司令小野田兵長ハ克ク任務ヲ理解シ積
極的ニシテ其ノ服務ハ嚴正ナリ(十月五日)

三 石第三五九九部隊衛兵司令前川兵長以下五名ハ任務ヲ理解良
好熱心ニ服務シ且衛舎内ノ清潔整頓良好ニテ司令以下服
裝言語態度嚴正ニシテ良好ナリ(十月五日)

配布先中隊迄ノ師班

第八二號

石兵團會報

十月二日 一ニ
浦添國民學校

將下
校



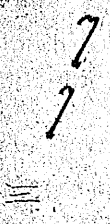
一



二



三



三 當部ニ於テ再任副官カ公務運賃割引證ニ個有名稱ヲ使用シテ發

本年度少尉候補者ヲ配當セラル部隊ハ本人部隊到着後
五日以内ニ陸軍士官學校卒業業後ノ行動概要ヲ筆記報告セ
ラレ度ノ際證明書ヲモモテ添付スルモノトス

一 某隊ニ爆破作業中發燃道守火索カ取扱頻繁ナル爲軟化シ内部
黒色煙痛妙シ火藥量少量ニ爲燃焼速度過早トナリニテ導
火索カ瞬時ニ燃焼シ爲テ事故發生如ク報告セルモ乾燥ホ子ニ至度
ニ至度際ハイサ知テ現在ノ如ク湿度ト温度ニテ豫想セザルコトニテ
又此ノ如ク導火索ヲ取扱フコトモ不可ナリ附近ニコボレタル「カーリ」ト引火
爆發セルモト思料セシメ結局線火カ滯留カスニ引火セルニ非ル
マ各隊ノ爆破指揮官ハ良ク注意シカル事故ナキ如ク注意セラレ
度